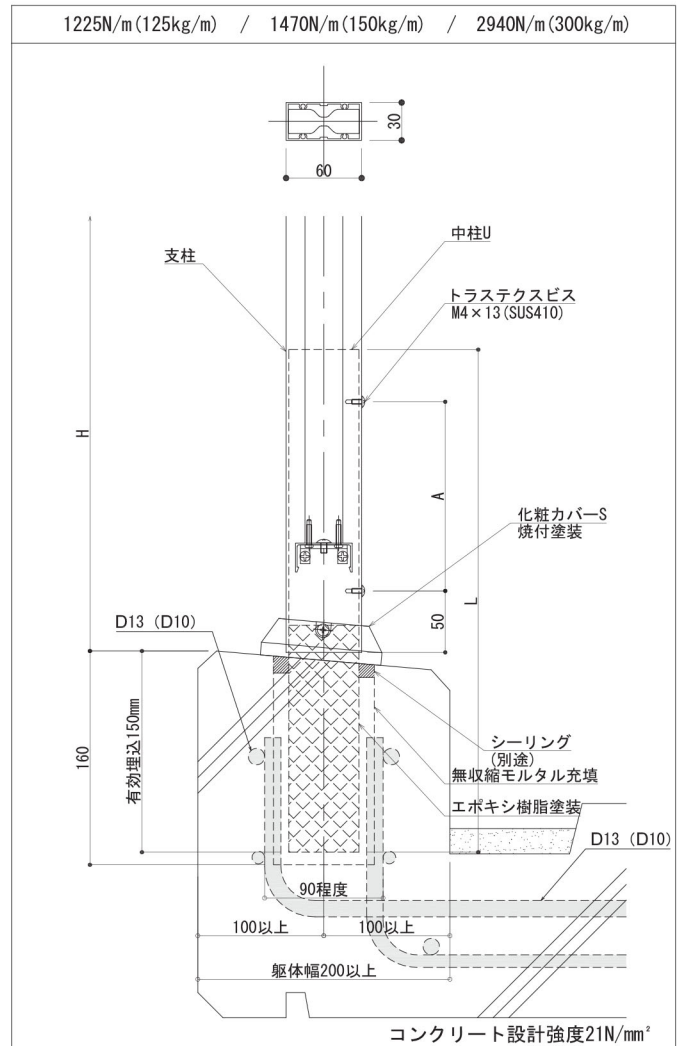
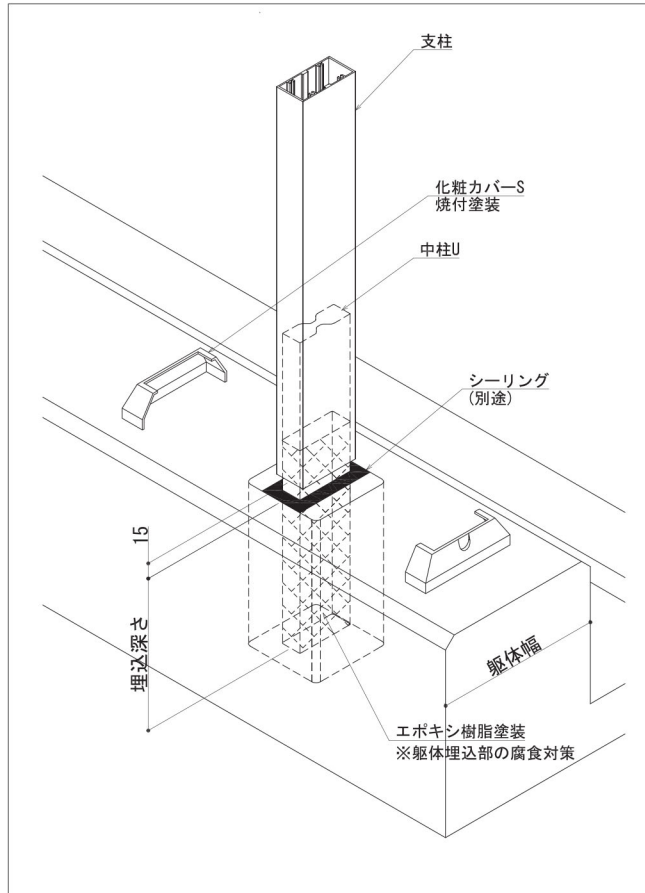


埋込工法(無収縮モルタル)

■ 躯体に空けておいた穴に、手すり支柱を差し込み、無収縮モルタルを流し込んで固定する工法です。



■ 水平荷重

水平荷重	中柱品名	中柱寸法 L	寸法 A	支持金具埋込深さ	W寸法制限	H寸法制限
			A			
1225 N/m (125kg/m)	中柱U 400	400 (mm)	100 (mm)	150 (mm)	W ≤ 1200	H ≤ 1200
1470 N/m (150kg/m)	中柱U 550	550 (mm)	250 (mm)	150 (mm)		
2940 N/m (300kg/m)	中柱U 750	750 (mm)	450 (mm)	150 (mm)		

■ 躯体条件の記載にあたって

取り付けられた手すりの強度は、「躯体の設計条件」、「手すり製品自体の強度」、「取付施工の質」に大きく依存します。それらを考慮し試験を行い、所定の強度を発揮できる製品仕様、躯体条件を定めております。試験詳細は、P.61をご参照下さい。

■ 支柱補強材エポキシ樹脂塗装の根拠

表面無処理のアルミニウム合金では、コンクリート中に純水と食塩水が浸入することにより、アルカリ腐食が起こる。食塩水は純水よりアルカリ腐食を激しくさせる。アルミニウム合金と鉄筋が接触した場合、食塩水が浸入すると、接触腐食とアルカリ腐食の両方が起こる。複合皮膜が施されたアルミニウム合金では、コンクリート打設中に複合皮膜が損傷すると、局所的なアルカリ腐食が起こる。エポキシ樹脂塗装は、接触腐食とアルカリ腐食の両方を防ぐことができる。

《参考文献》佐藤 正典,大西 弘志,大倉 一郎,萩澤 亘保,花崎 昌幸:アルミニウム合金のコンクリート中の腐食,土木学会,59-05-266

■ 設計・施工留意点

- ※ 躯体不陸について、躯体レベル精度を±10mm程度をしてください。
- ※ 脚部の引抜き、せん断強度を確保するために躯体厚、コンクリート強度を確保願います。
- ※ 脚部と干渉しない配筋の位置設計をお願いします。